

6 基本理念

子どもが幸福に暮らし自立した大人へと健やかに成長できる“ひろしま”の実現



子どもたちが、大人の愛情と支えによって、幸福に暮らすとともに、様々な個性や能力を伸ばし、自立性、社会性を身につけ、生きる意欲や苦境を乗り越える力を持った大人へと成長できるよう、社会全体で子どもの育ちを推進します。

7 計画の推進



● 推進体制

1

行政の推進体制

こども未来局が中心となって取り組むとともに、こども施策クロスセクションにおいて各部署の連携を一層強化し、スピード感のあるダイナミックな施策展開ができるよう取り組んでいきます。
さらに、他の部門計画との整合性を図り、関係する行政機関・団体とも連携を図りながら取り組んでいきます。

2

全市レベルの推進体制

子育て支援団体、事業者、労働団体、行政機関等におけるそれぞれの取組をさらに充実させ、子どもと子育て家庭への支援を総合的・効果的に推進するためには、各主体間の連携を強化する必要があります。そのため、子育て支援団体、事業者、労働団体などで構成する子ども・子育て支援推進協議会(仮称)を設置し、全市レベルでのネットワークを構築し、本計画の推進に向けて取り組んでいきます。

3

地域レベルの推進体制

地域社会で子育て家庭を支援していくため、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、子ども会、PTA、青少年健全育成連絡協議会、地域活動連絡協議会、子育て支援団体、NPOなど多様な主体が相互に協力し、連携を図りながら活動を推進していく体制づくりを促進します。

● 計画の進行管理

「広島市子育て支援対策推進本部(本部長:広島市長)」において、毎年度進捗状況を点検し、ホームページなどへの掲載により広く市民に公表します。また、当本部において、計画推進のための総合調整を行うとともに、社会変化や計画の進捗状況などに応じて、計画の必要な見直しを行います。さらに、子ども施策に関する審議会(学識経験者、各種団体の関係者、公募委員等で構成)に進捗状況を報告し、評価や意見を求め、計画内容の実現に努めます。

